

アスファルト混合物報告書

令和6年2月27日

鳥取県県土整備部技術企画課長

様

製造会社

所在地 鳥取市南隈835

工場名 共同アスコン

配合の設計条件				
混合物の種別	骨材の最大寸法	基準	密度	混合温度
再生アスファルト安定処理	20 mm	2.359	g/cm ³	155 °C
空隙率	飽和度	安定度	フロー値	
6.4 %	58.7 %	5.99 kg	31	1/100cm
D	S	値		
使用材料及び配合表				
使用材料名	産地名	生産会社	配合率	備考
ストレートアスファルト 改質アスファルトⅠ型 改質アスファルトⅡ型	ストアス 60/80	昭和瀝青工業(株)	1.82 %	
石粉	岡山県真庭市宮地	中山石灰工業(株)	1.92 %	
5号砕石	岡山県美作氏巨勢	(株)北部砕石	17.28 %	
6号砕石	岡山県津山市檜	(有)野田産業	20.16 %	
7号砕石	岡山県津山市檜	(有)野田産業	4.80 %	
砕砂	岡山県津山市檜	(有)野田産業	6.72 %	
海砂	佐賀県唐津市	(株)住若	6.72 %	
再生骨材	鳥取県鳥取市南隈	共同アスコン	40.35 %	
添加剤	山口県周南市	出光興産(株)	0.23 %	

アスファルト混合物配合設計書

混 合 物 : 再生アスファルト安定処理

共同企業体 共同アスコン

室内配合試験目次

1. 室内配合試験

1-1. 使用材料の産地及び納入業者	—————	1
1-2. 使用アスファルトの性状	—————	2
1-3. 旧アスファルト針入度調整	—————	3
1-4. 室内配合試験結果		
1-4-1. 混合物配合率及び合成粒度	—————	4
1-4-2. 最適アスファルト量によるマーシャル性状値	—————	4

以下バックデータ

- 常温骨材配合率計算表
- 新アスファルト量の計算表
- 理論最大密度計算表
- マーシャル安定度試験成績表
- マーシャル安定度試験相関図

1. 室内配合試験

1-1. 使用材料の産地及び納入業者

材料種類	材 質	産地又は品名	納入業者
5号砕石	硬質粘板岩	岡山県美作市巨勢	(株)北部砕石
6号砕石	硬質粘板岩	岡山県津山市檜	(有)野田産業
7号砕石	硬質粘板岩	岡山県津山市檜	(有)野田産業
砕砂	硬質粘板岩	岡山県津山市檜	(有)野田産業
砂	海砂	佐賀県唐津市	(株)住若
石粉	石灰岩粉末	岡山県真庭市宮地	中山石灰工業(株)
再生骨材	0～13mm	鳥取県鳥取市南隈	共同アスコン
再生用添加剤	ダイアナプロセス オ イ セ ル	山口県周南市	出光興産(株)
アスファルト	ストレート60/80	ストレートアスファルト60/80	昭和瀝青工業(株)

材料種類	5号砕石	6号砕石	7号砕石	砕砂	砂	再生骨材	石粉	
通過質量百分率 (%)	ふるい目							
	37.5 mm							
	31.5 mm							
	26.5 mm	100.0						
	19.0 mm	97.0	100.0					
	13.2 mm	6.6	96.1	100.0	100.0	100.0	100.0	
	9.5 mm						-	
	4.75 mm		0.1	93.7	99.9	98.9	87.0	
	2.36 mm			8.3	89.1	90.9	57.1	
	0.600 mm				33.0	48.1	36.4	100.0
	0.300 mm				16.5	18.6	23.2	100.0
	0.150 mm				6.7	1.5	10.4	96.4
0.075 mm				1.4	0.4	6.0	83.6	
比重 (g/cm ³)	表乾	2.686	2.698	2.695	2.679	2.587	-	-
	かさ	2.660	2.668	2.668	2.643	2.547	-	-
	見掛	2.730	2.749	2.741	2.742	2.652	-	2.720
吸水率 (%)	0.96	1.09	0.99	1.36	1.45	-	0.12	
すりへり減量 (%)	13.7	16.5	-	-	-	-	-	
安定性 (%)	3.2	5.4	1.5	2.3	3.6	-	-	
軟石量 (%)	3.5	4.5	-	-	-	-	-	
細長・扁平量 (%)	-	-	-	-	-	-	-	
単位容積質量	1.6	1.6	1.6	1.7		-	-	
粘土塊 (%)	0.06	0.07	0.13	0.04	0.07	-	-	
旧AS含有量						4.82	-	
旧AS針入度 (1/10mm)						23	-	
最大比重 (g/cm ³)						2.435	-	
微粒分量試験 (%)						2.5	-	
洗い損失量 (%)						2.9	-	

1-2. アスファルトの性状

アスファルトの種類	ストレートアスファルト60/80		
アスファルトの名称	ストレートアスファルト60/80		
項 目	試験値	規 格	
針 入 度 (25℃) 1/10mm	65	60~80	
軟 化 点 °C	49	44~52	
伸 度 (15℃) cm	140+	100 以上	
トルエン化溶分 %	99.97	99 以上	
引 火 点 °C	370	260 以上	
薄膜加熱質量残留率 %	0.08	0.6以下	
薄膜加熱針入度残留率 %	73.4	55以上	
蒸発後の針入度比 %	100	110以下	
密 度 (15℃) g/cm ³	1.040	1.000 以上	
タフネス (25℃) N・m	-	-	
テナシテイ (25℃) N・m	-	-	
(120℃)	-	-	
動 粘 度 (150℃) mm ² /s	-	-	
(180℃)	-	-	
最 適 混 合 温 度 °C	150 - 156	153	
最 適 締 固 温 度 °C	139 - 143	141	

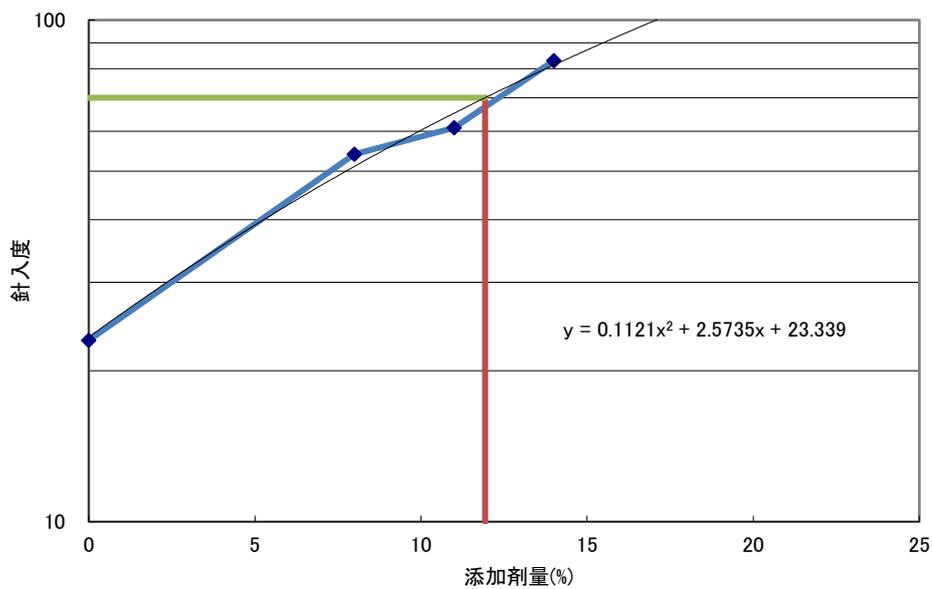
1-3. 再生用添加剤の性状

添加剤の種類	再生用添加剤		
添加剤の名称	ダイアナプロセスオイルNP-250		
項 目	試験値	規 格	
動 粘 度 (60℃) mm ² /s	87.7	80~1,000	
引 火 点 °C	278	250 以上	
薄膜加熱後粘度比 (60℃) %	1.07	2 以下	
薄膜加熱質量変化率 %	-0.67	±3 以内	
密 度 (15℃) g/cm ³	0.9088	-	
組成成分 アスファルテン %	0.7	-	
飽 和 分 %	79.2	-	
芳 香 族 分 %	15.2	-	
レ ジ ン %	4.4	-	

1-3. 旧アスファルト針入度調整

試験項目	材料名	再生骨材 0-13			規格値
通過質量百分率 %	53mm				
	37.5mm				
	31.5mm				
	26.5mm				
	19mm				
	13.2mm	100.0			
	9.5mm	100.0			
	4.75mm	87.0			
	2.36mm	57.1			
	1.18mm	-			
	0.6mm	36.4			
	0.3mm	23.2			
	0.15mm	10.4			
0.075mm	6.0				
旧AS含有率 %		4.82			3.8以上
旧AS針入度(25°C) 1/10mm		23			20以上
微量分量試験による損失量 %		2.5			5以下
最大密度		2.435			

添加剤量 (%)	0	8	11	14
針入度 (1/10mm)	23	54	61	83



目標針入度になる添加剤量	
対アスファルト	対混合物
11.93	0.24

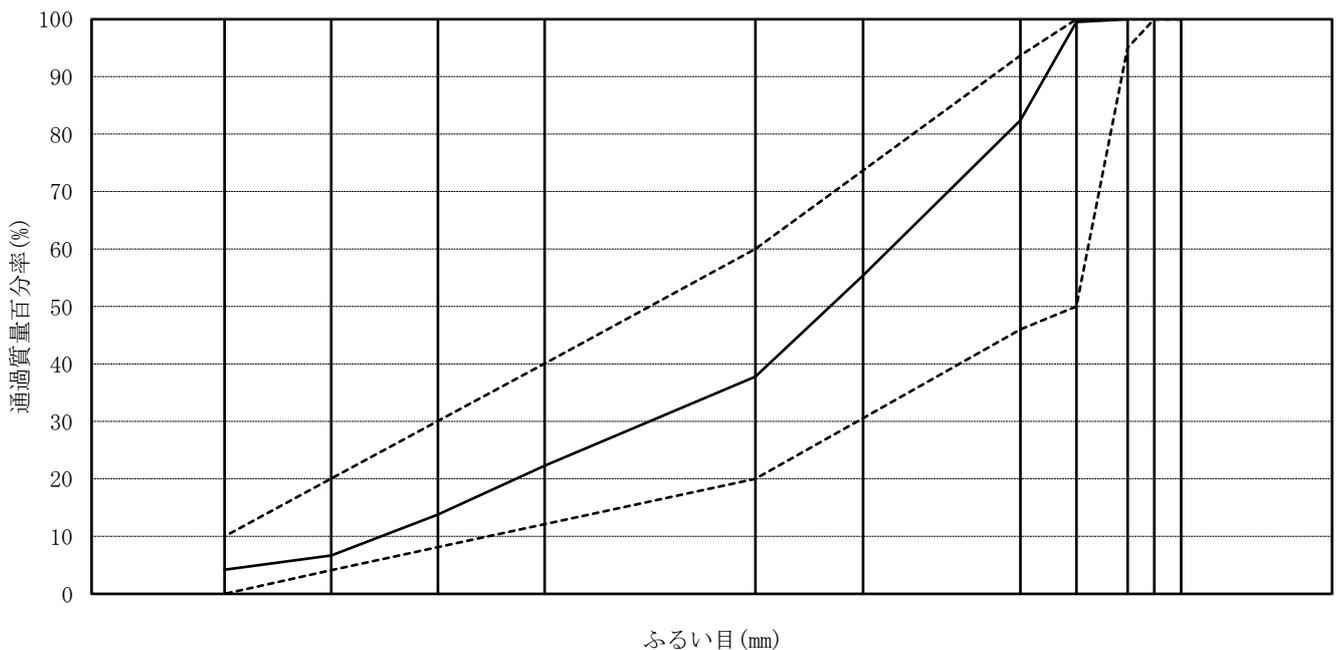
1-5. 室内配合試験結果（再生アスファルト安定処理）

1-5-1. 混合物配合率及び合成粒度

材料種類	骨材配合 (%)	混合物 (%)	
		外割配合	内割配合
5号砕石	18.0	18.00	17.28
6号砕石	21.0	21.00	20.16
7号砕石	5.0	5.00	4.80
砕砂	7.0	7.00	6.72
砂	7.0	7.00	6.72
石粉	2.0	2.00	1.92
再生骨材	40.0	骨材 40.00 旧AS 2.03	38.40 1.95
添加剤		0.24	0.23
アスファルト	設計 (4.0)	1.90	1.82
合計	100.0	104.17	100.00

ふるい目 (mm)	53.0	37.5	31.5	26.5	19.0	13.2	4.75	2.36	0.600	0.300	0.150	0.075
通過質量百分率 (%)												
合成粒度			100.0	100.0	99.5	82.4	55.4	37.8	22.3	13.8	6.7	4.2
中央粒度			100.0	100.0	75.0	-	-	40.0	-	-	-	5.0
粒度範囲			100	95	50	-	-	20	-	-	-	0
				100	100			60				10

加積粒度曲線図



1-5-2. 最適AS量におけるマーシャル性状値

項目	AS量 (%)	密度 (g/cm ³)	空隙率 (%)	飽和度 (%)	安定度 (kN)	フロー値 (1/100cm)		
試験値	4	2.358	6.4	58.8	6.33	29		
規格値	-	-	3~12	-	3.43以上	10~40		

室内配合設計バックデータ

合 材 種 類 : 再生アスファルト安定処理

常温骨材配合率計算

工事名 :

混合物種類 : 再生アスファルト安定処理

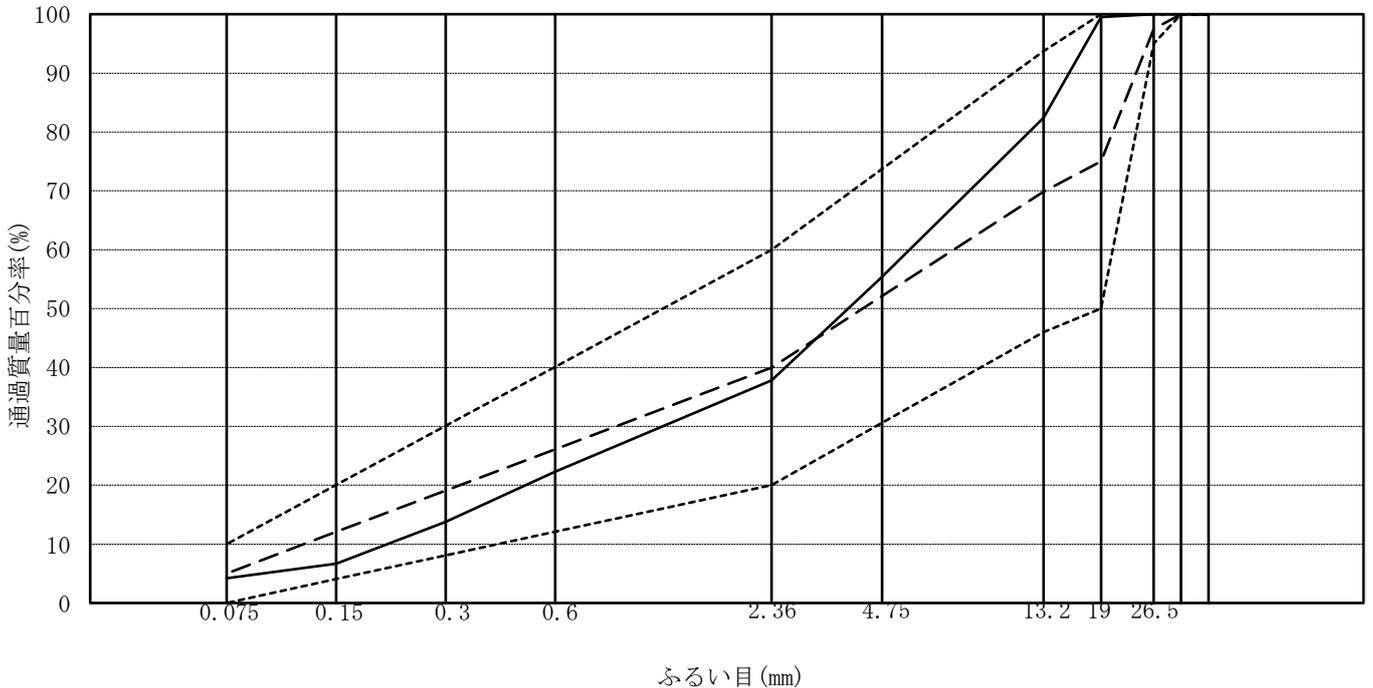
試験日 : 令和6年2月

記事 : 令和6年度 配合設計

試験者 : 繁友芳明

ふるい目		37.5 mm	31.5 mm	26.5 mm	19.0 mm	13.2 mm	9.5 mm	4.75 mm	2.36 mm	600 μm	300 μm	150 μm	75 μm
通過質量百分率 (%)	① 5号砕石			100.0	97.0	6.6							
	② 6号砕石				100.0	96.1		0.1					
	③ 7号砕石					100.0		93.7	8.3				
	④ 砕砂					100.0		99.9	89.1	33.0	16.5	6.7	1.4
	⑤ 砂					100.0		98.9	90.9	48.1	18.6	1.5	0.4
	⑥ 再生骨材				100.0	100.0		87.0	57.1	36.4	23.2	10.4	6.0
	⑦ 石粉									100.0	100.0	96.4	83.6
配合率 B		各骨材のふるい目の大きさ別配合率 (A) × (B) / 100											
①	18.0 %		18.0	18.0	17.5	1.2							
②	21.0 %				21.0	20.2		0.0	0.0				
③	5.0 %					5.0		4.7	0.4	0.0			
④	7.0 %					7.0		7.0	6.2	2.3	1.2	0.5	0.1
⑤	7.0 %					7.0		6.9	6.4	3.4	1.3	0.1	0.0
⑥	40.0 %					40.0		34.8	22.8	14.6	9.3	4.2	2.4
⑦	2.0 %					2.0		2.0	2.0	2.0	2.0	1.9	1.7
合成粒度			100.0	100.0	99.5	82.4		55.4	37.8	22.3	13.8	6.7	4.2
中央粒度			100.0	-	75.0	-	-	-	40.0	-	-	-	5.0

加積粒度曲線図



新アスファルト量の計算

工事名 :

混合物種類 : 再生アスファルト安定処理

試験日 : 令和6年2月

記事 : 令和6年度 配合設計

試験者 : 繁友芳明

骨材種類	骨材配合率	
	骨材のみ	旧AS含む
5号砕石	18.0	18.00
6号砕石	21.0	21.00
7号砕石	5.0	5.00
砕砂	7.0	7.00
砂	7.0	7.00
石粉	2.0	2.00
再生骨材	40.0	42.03
合計	100.0	102.03
旧AS含有量	%	4.82
設計針入度	1/10mm	70
旧アスファルト量	(外割) %	2.03
再生用添加剤量(対旧アスファルト量)	%	11.93
再生用添加剤量(対再生混合物)(外割)	%	0.24

再生アスファルト量 %	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0	4.0
再生アスファルト量(外割) %	3.09	3.63	4.17	4.71	5.26	4.17
旧アスファルト量(外割) %	2.03					
再生用添加剤量(外割) %	0.24					
新アスファルト量(外割) %	0.82	1.36	1.90	2.44	2.99	1.90

備考)

マーシャル安定度試験成績表

工 事 件 名 :
 試 験 目 的 : 令和6年度 配合設計
 混 合 物 種 類 : 再生アスファルト安定処理
 配 合 区 分 : 室内配合
 バインダー種類 : 再生アスファルト60/80

試 験 日 : 令和6年2月

試 験 者 : 繁 友 芳 明

骨材加熱温度 : 175 °C
 バインダー温度 : 153 °C
 突固め温度 : 141 °C
 突固回数 : 50 回
 バインダー密度 : (A) 1.040 g/cm³
 力計の係数 : (B) 0.146 kN

試験条件	供試体番号	① アスファルト量 (%)	② 供試体平均厚 (cm)	③ 空 中 重 量 (g)	④ 水 中 重 量 (g)	⑤ 表 乾 重 量 (g)	⑥ 容 積 (cm ³)	⑦ ⑧ 密 度 (g/cm ³)		⑨ 容積率 (%)	⑩ 空 隙 率 (%)	⑪ 骨 材 間 隙 率 (%)	⑫ 飽 和 度 (%)	⑬ ⑭ 安 定 度 (kN)		⑮ フ ロ ー 値 (1/100cm)	⑯ 残 留 安 定 度 (%)
								か	理					力計の読み	安定度		
標準	3.0			1181.3	676.9	1184.8	507.9	2.326						31	4.53	23	
				1181.1	678.5	1184.5	506.0	2.334						33	4.82	21	
				1182.9	675.8	1186.8	511.0	2.315						32	4.67	24	
	平均							2.325	2.557	6.7	9.1	15.8	42.4		4.67	23	
標準	3.5			1185.3	684.1	1188.3	504.2	2.351						36	5.26	25	
				1185.8	682.6	1187.8	505.2	2.347						34	4.96	24	
				1186.7	681.7	1189.5	507.8	2.337						37	5.40	25	
	平均							2.345	2.537	7.9	7.6	15.5	51.0		5.21	25	
標準	4.0			1191.8	690.8	1195.2	504.4	2.363						45	6.57	30	
				1190.3	688.7	1193.7	505.0	2.357						43	6.28	31	
				1191.3	686.8	1193.5	506.7	2.351						46	6.72	29	
	平均							2.357	2.519	9.1	6.4	15.5	58.7		6.52	30	
標準	4.5			1195.5	693.5	1197.9	504.4	2.370						45	6.57	30	
				1195.9	692.7	1198.6	505.9	2.364						49	7.15	32	
				1197.2	694.2	1199.3	505.1	2.370						49	7.15	33	
	平均							2.368	2.500	10.2	5.3	15.5	65.8		6.96	32	
標準	5.0			1201.1	695.2	1202.9	507.7	2.366						48	7.01	37	
				1200.4	695.9	1202.2	506.3	2.371						47	6.86	39	
				1200.1	695.4	1201.1	505.7	2.373						50	7.30	37	
	平均							2.370	2.482	11.4	4.5	15.9	71.7		7.06	38	

⑥ = ⑤ - ④
 ⑦ = ③ / ⑥
 ⑨ = ① × ⑦ / (A)
 ⑪ = ⑨ + ⑩
 ⑫ = ⑨ / ⑪ × 100
 ⑭ = (B) × ⑬

マーシャル安定度試験相関図

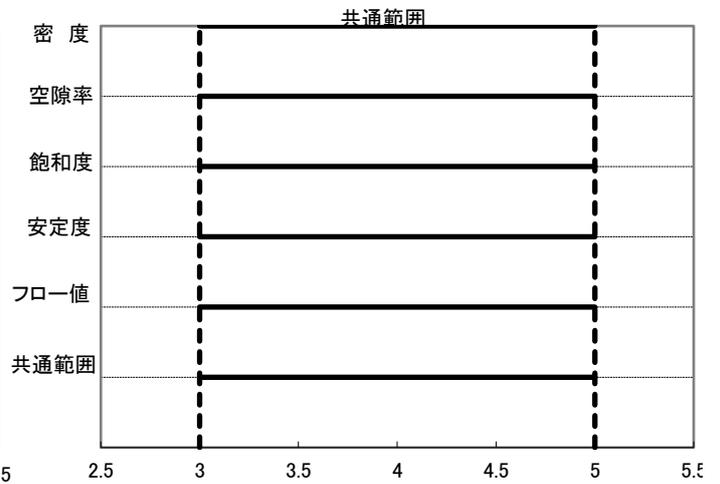
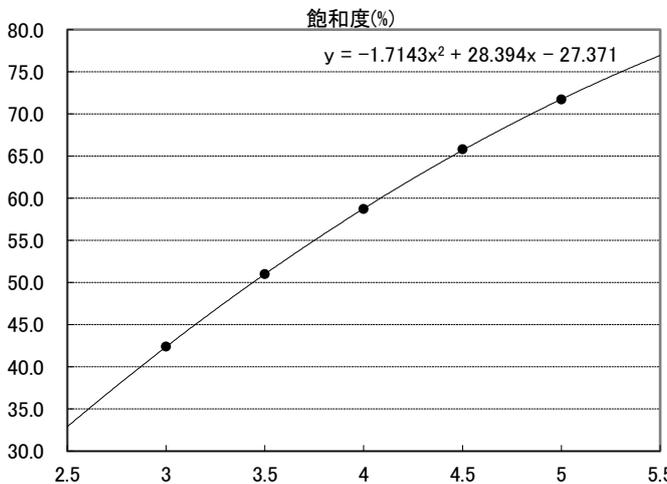
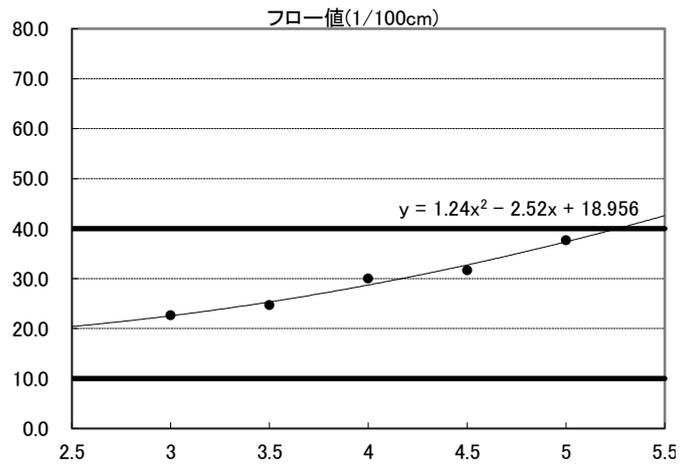
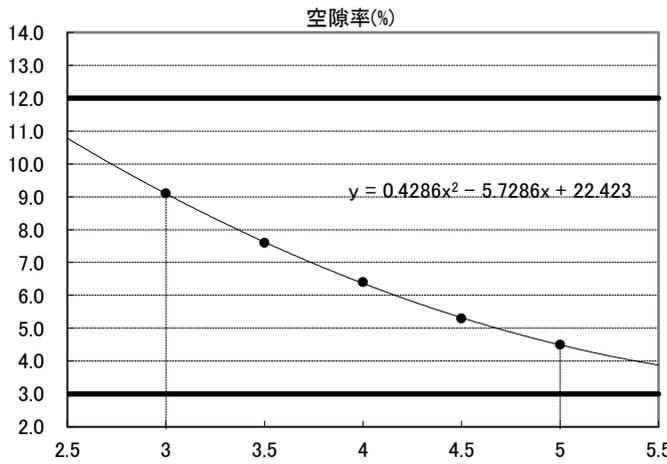
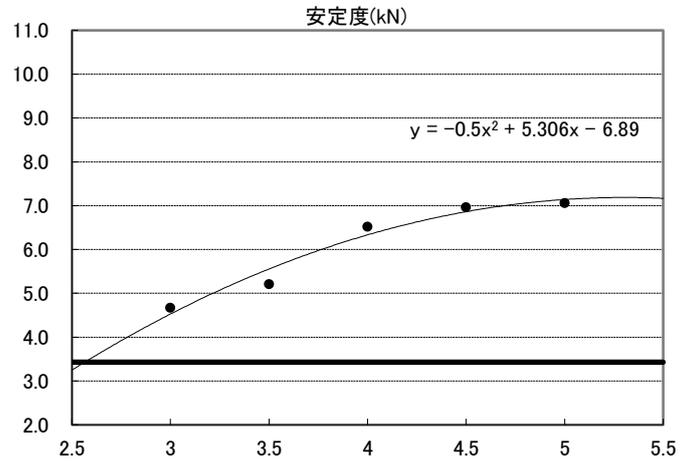
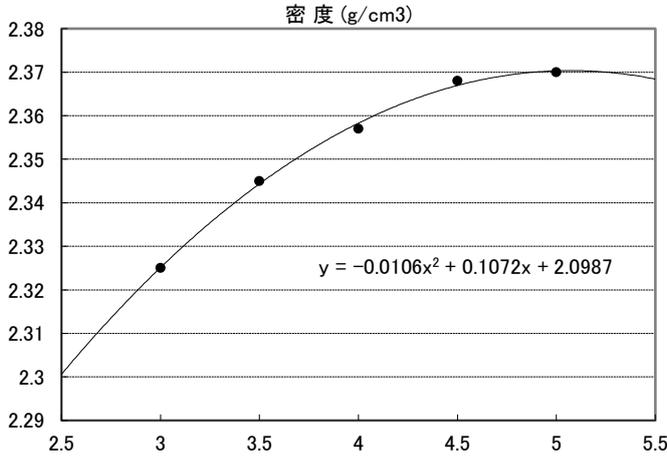
工事名 :

混合物種類 : 再生アスファルト安定処理

試験日 : 令和6年2月

記事 : 令和6年度 配合設計

試験者 : 繁友芳明



規格を全て満足する範囲 : 5.00 % ~ 3.00 %
 規格を全て満足する範囲の中央値 : 4.0 %

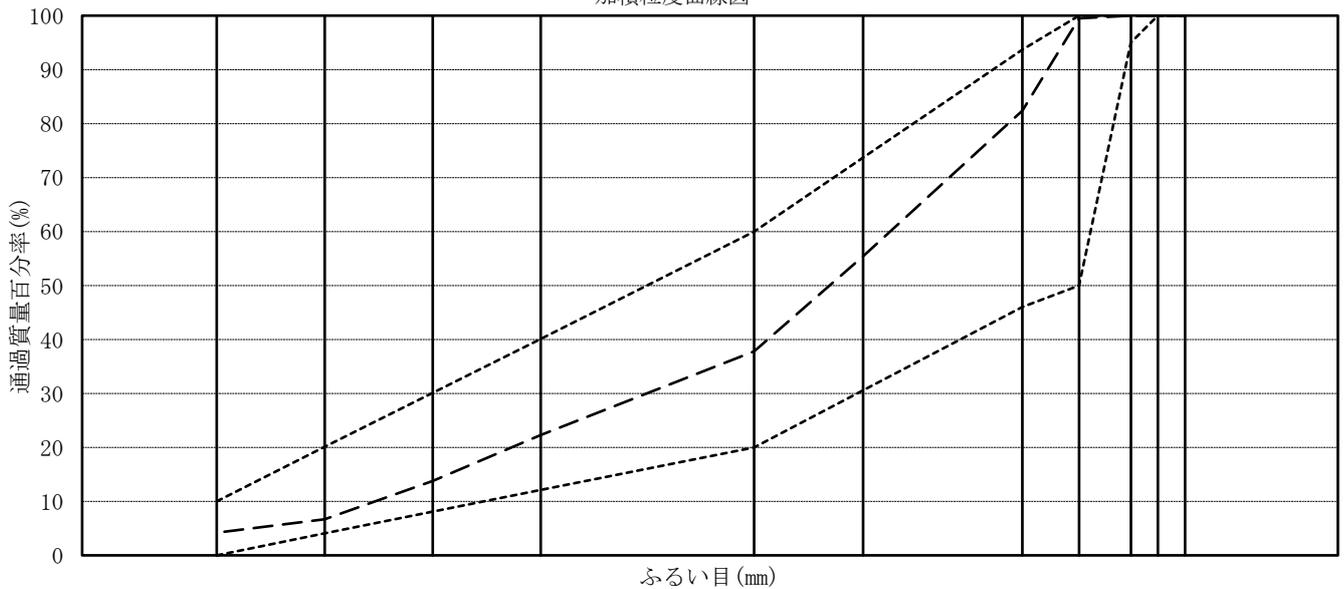
現場配合試験結果

混合物現場配合率及び合成粒度

材料種類	骨材配合(%)	A S 混合物配合(%)		計量値(kg)
		外 割	内 割	
IV ビ ン	22.0	22.00	21.12	211
III ビ ン	18.0	18.00	17.28	173
II ビ ン	5.0	5.00	4.80	48
I ビ ン	13.0	13.00	12.48	125
石 粉	2.0	2.00	1.92	19
再 生 骨 材	40.0	42.03	40.35	404
添 加 剤		0.24	0.23	2
アスファルト	設 計 (4.0)	1.90	1.82	18
合 計	100.0	104.17	100.00	1000

ふるい目(mm)	53.0	37.5	31.5	26.5	19.0	13.2	4.75	2.36	0.600	0.300	0.150	0.075
合成粒度			100.0	100.0	98.4	76.0	53.9	37.8	22.0	13.8	7.2	4.3
粒度範囲			100	95 -	50 ~	-	-	20 ~	-	-	-	0 ~
				100	100			60				10

加積粒度曲線図



試験練りにおける混合物性状及び混合条件

試験項目	基準値	規格及び目標値	項目	条件
突固め回数 回	50	50	混合能力 (t/H)	60
A S 量 %	4.0	-	混合能力 (kg)	1,000
密度 g/cm ³	2.359	-	混合時間 (S)	ドライ 15
理論密度 g/cm ³	2.519	-		ウェット 35
空隙率 %	6.4	3~12	温度 (°C)	骨材加熱 175 ± 20
飽和度 %	58.7	-		アスファルト 153 ± 10
安定度 kN	5.99	3.43以上		混合物 155 ± 20
フロー値 1/100cm	31	10~40		

現場配合設計バックデータ

合 材 種 類 : 再生アスファルト安定処理

加熱骨材配合率計算

工事名 :

混合物種類 : 再生アスファルト安定処理

試験日 : 令和6年2月

記事 : 令和6年度 配合設計

試験者 : 繁友芳明

ふるい目		37.5 mm	31.5 mm	26.5 mm	19.0 mm	13.2 mm	9.5 mm	4.75 mm	2.36 mm	600 μm	300 μm	150 μm	75 μm
材 料	① IV ビン			100.0	92.5	1.7							
	② III ビン				100.0	86.5		1.5	0.3				
	③ II ビン					100.0		76.5	4.6				
	④ I ビン							100.0	98.0	41.2	19.0	8.2	1.6
	⑤												
	⑥ 再生骨材				100.0	100.0		87.0	57.1	36.4	23.2	10.4	6.0
	⑦ 石 粉									100.0	100.0	96.4	83.6
配合率 B		各骨材のふるい目の大きさ別配合率 (A) × (B) / 100											
①	22.0 %												
②	18.0 %				18.0	15.6		0.3					
③	5.0 %					5.0		3.8	0.2	0.0			
④	13.0 %							13.0	12.7	5.4	2.5	1.1	0.2
⑤	%												
⑥	40.0 %				40.0			34.8	22.8	14.6	9.3	4.2	2.4
⑦	2.0 %							2.0	2.0	2.0	2.0	1.9	1.7
合成粒度			100.0	100.0	98.4	76.0		53.9	37.8	22.0	13.8	7.2	4.3
基準粒度			100.0	100.0	99.5	82.4	-	55.4	37.8	22.3	13.8	6.7	4.2

加積粒度曲線図

